

情報漏洩対策

ログオン制御



- ユーザIDの管理
- 使用者以外からのアクセス制限
- 定期的なパスワード変更



解決 

Windowsログオン時に、ID/パスワード認証に加え、**二番目の認証**を付加し、セキュリティを強化します。
USBトークンを抜くと、PCが利用できなくなります。

(設定よって、ID/パスワードの入力を省略することも可能です)

多様な機能

■ Windowsセキュアログオン



USBトークンを物理的な『鍵』としてPCに挿入し、Windowsへログオンします。

■ 管理者機能



USBトークンの登録や管理が容易に行えます。また、ポリシーの設定も行えます。

■ ワンタイムパスワード発行



USBトークンを忘れた!! そんな時・・・ワンタイムパスワード発行で業務を止めません。

■ 電子証明書の格納



VPN接続、リモートデスクトップやSSLなどの電子証明書をUSBトークン内に格納できます。

■ ログ機能



Windowsログオン、シングルサインオンなどの利用状況を記録することが可能です。

■ シングルサインオン (オプション)



様々なWebサイトのID/PasswordをUSBトークン内に格納し、自動的に認証を行えます。

提供元

飛天ジャパン株式会社

使えるセキュリティをお客様へ

お問い合わせ・評価キットのお申し込みはこちらまで

飛天ジャパン 営業部

☎ 03-3668-6668

✉ sales@ftsafe.co.jp

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 9-3 CANAL TOWER 4F

<http://www.ftsafe.co.jp/>

採用事例

最高レベルのアクセス制限を必要とするセキュリティルームでSecureCoreを採用



株式会社 TIS 様



■ 今回の導入の背景を教えてください。

当社のお客様には金融機関やカード、クレジット会社などが多くあり、業務上、お客様環境へアクセスして作業することがしばしばあります。当社の端末からお客様環境に入るわけですが、これには最高レベルのアクセス制限を設けなければなりません。まず、アクセスできる端末を限定し、「セキュリティルーム」という限られた部屋に隔離しています。以前は、IDとパスワードの他にカードタイプのアクセスキーを担当者に配付しており、そのキーがなければお客様環境にはアクセスできないようにしていました。

■ 以前のセキュリティシステムにどのような課題があったのでしょうか。

2011年4月、当社とグループ会社であったソラン、ユーフィットの3社が合併して新体制のTISとなり、7,000名近い規模になりました。これで、セキュリティルームで管理していた端末が300台から倍の600台以上に増加し、抜本的にセキュリティの運用体制を見直す必要に迫られました。加えて、セキュリティレベルを維持するためにも、認証用のアクセスキーの刷新も必要となりました。

■ 新しいアクセスキーにはどのような要件が求められましたか？

それまで情報システム部の担当者1名が運用を担当していましたが、これを各現場の事業本部やオフィスに移管することにしました。600台以上になると1名ではとてもカバーできません。この体制で高度なセキュリティレベルを維持できることが要件でした。また、セキュリティレベルを維持するために、担当者で端末を1対1の設定にできることも条件でした。もちろん、最新OSの対応や、カードタイプのアクセスキーから操作性を変えることなく刷新できることも考えました。

後は丈夫なことでしょうか。カードタイプのアクセスキーは壊れやすく、毎月のように交換依頼が来ます。丈夫で長持ちというのも考慮しました。これら要件をまとめて、2011年11月から国内で入手可能なアクセスキーの情報を収集し、主だった3~4社ほどを候補に、提案を求めました。

■ 飛天日本の「SecureCore」を選んだ理由はどこにありますか？

検証を繰り返した結果、飛天日本の「SecureCore」が最も性能得点が高く、極めて高いセキュリティレベルを維持できることがわかりました。それと、運用が容易で、情報システム部門が介在することなく、現場の人間で運用できます。実績も豊富です。「SecureCore」で利用するUSBトークン(ePass)は当時日本国内ですでに50万本の実績がありました。中国国内も含めると100万本です。

担当者も極めて前向きに当社の要求に応じていただきました。これも他社にはない大きな特長のひとつです。低コストも重要なポイントです。他社では一桁高い見積りを出してきたところもありました。それと、「SecureCore」の信頼性にはまったく問題ありません。

2012年2月には採用を決定し、本社から始めて、名古屋、大阪へと全社展開しています。

■ システムの特長や工夫した点はありますか？

ユーザーが勝手にアンインストールできないようお願いしました。アンインストールには管理者の許可を必要としています。また、初期パスワードは変更しなければ使えない仕組みにして、セキュリティレベルを高めています。これはカスタマイズでお願いした機能で、驚くほどスピーディに対応いただきました。

■ 導入しての効果はいかがでしたか？

運用面において飛躍的に効率化されました。これまで情報システム部が管理していましたが、その業務から開放されました。現場で運用しているわけですが、これも歓迎されています。また、期待したように今まで1件も故障の報告が上がりません。

■ 飛天日本への評価はいかがでしたか？

導入後、ほとんど問題なく稼働しています。1度だけパッチが必要になりましたが、その際は素早くパッチを送っていただき、トラブルが表面化しませんでした。レスポンスの良さは驚くほどです。こちらの意図を組み込んで素早く対応してくれます。飛天日本の技術力は極めて高いといえます。



TIS株式会社 コーポレート本部
情報システム部長 作田義則 氏